

記載例

日本工業規格A列4番の用紙で作成してください(左端3cm程度の余白をとってください)。

収入印紙 300円	
事件番号	平成 18年(ハ)第 123号 損害賠償請求 事件
執行文付与申請書	
債権者 (原告)	住所: 〒000-0000 東京都千代田区準町〇〇-△△ 氏名: 日本 太郎
債務者 (被告)	住所: 〒000-0000 東京都千代田区平河町◇◇-□□ 氏名: 日本 花子
書類の表示 (番号を○で囲む)	1 判 決 2 和 解 調 書 ③ 第 1 回口頭弁論調書 (<input checked="" type="checkbox"/> 判決・ <input type="checkbox"/> 和解・ <input type="checkbox"/> ()) 4 和 解 に 代 わ る 決 定 5 調 停 調 書 6 調 停 に 代 わ る 決 定 7 その他 ()
上記事件につき、上記書類の正本に執行文を付与されたく申し立てます。	
平成 18年 1月 23日	
申請人(債権者)住所 東京都千代田区準町〇〇-△△	
申請人(債権者) 日本 太郎印	
〇 〇 簡易裁判所 御中	
貼用印紙 300円	
係印 受付印	
※ 上の太い黒枠内について記入してください。	
※ 項目を選択する場合には、□欄に「レ」を付してください。	

(注)印紙300円分を右側上部余白に貼り、消印はしないでください。

(注)()には、訴訟事件である場合には「原告」又は「被告」、調停事件の場合には「申立人」、「相手方」と記載してください。

添付書類等

執行文を付与する債務名義(判決、和解調書等)正本 1部

注意

上記の用紙は、再度の執行文付与、複数の執行文付与、債務名義に表示された給付請求が債権者の証明すべき事実の到来に係るものである場合の執行文(条件成就執行文)付与、債務名義に表示された当事者以外の者を債権者又は債務者とする執行文(承継執行文)付与等の場合には、使用できませんので、申立先の裁判所にお問い合わせください。



裁判所に郵送する場合は、封筒のあて名に事件を担当する係名を記載してください。裁判所に来られるときは、記載事項を訂正していただくこともありますので、申請書に押印した印鑑を持参してください。